



門真市子どもの未来応援ネットワーク事業情報誌 vol.4

平成31年 1月発行

●応援団員養成出張研修を実施中

地域における多くの見守りの目を確保するため、地域の集まりや各種団体の会議等に赴く「出張研修」を実施しています。ご希望の方はこども政策課までお問い合わせください。

お問い合わせの際は下記のことをお尋ねします。

- ①希望日時 (2～3候補日時)
- ②実施会場 (依頼者様でご準備ください)
- ③参加人数 (10名以上)

申込先 **子どもの未来応援チーム**
☎06-6902-6098

●校別応援団登録者数

中学校区	登録者数
第二中	106
第三中	184
第四中	175
第五中	187
第七中	133
はずはな中	148
企業等	128
その他・市職員	98
合計	1,159

(平成31年 1月 9日現在)

●情報誌のメール配信について

これまで「子どもの未来応援ネットワーク事業情報誌」は、応援団員の皆様へ郵送により配布させていただいておりますが、Eメールでの配信が可能であり、ご希望の方は、下記のアドレスへ件名を「応援団員」としたうえで、メール本文に氏名と住所を入力し、送信していただければ、次回以降はメールで情報誌をお送りさせていただきます。

門真市子どもの未来応援チーム

メールアドレス ⇒ kadomamirai@city.kadoma.osaka.jp

●報告会で出された課題に対する対応について

平成30年7月の事業報告会で出された3つの課題について、次の対応を行っています。

- ① 応援団員と推進員が交流できる場の設定
- ② 見守り方がわからない。
- ③ 応援団員バッジ知名度の向上

①「こども未来カフェ」を全中学校区で実施

11月13日(火)～12月4日(火)にかけて、全中学校区で「こども未来カフェ」を実施し、校区の応援団員と担当推進員が、地域のことや子どものこと等について、意見交換や交流を図るとともに、参加者よりご意見等をいただきました。

今後も一層【見守り→連絡→対応】の流れがスムーズにいくよう取り組んでまいります。なお、当日は、「ダイードリンコ株式会社」様から(*1)飲料の提供をいただきました。

(*1)大阪府とダイードリンコ株式会社との包括連携協定に基づく事業の一環としてご協力いただいたものです。



第三中学校区



第四中学校区

こども未来カフェで出された意見(抜粋)

- 応援団員バッジをつけて登下校時の見守りをしていると、子どもが徐々に声をかけてくれるようになった。言葉を交わす関係になり、子どもの様々な状態がわかってきた。
- 子どもと触れ合う機会がない。地域の中で世代間の交流が必要。
- 通りすぎる子どもからシグナルを発見するのは難しい。
- 子どもの居場所が地域に不足している。応援団員が協力して、子どもの居場所をつくるのも必要ではないか。
- 年に1回や2回の応援団員の集まりでは横の繋がりができない。このような取り組みを頻繁に行ってもらいたい。
- 他の応援団員と話しができてよかった。また、推進員がどのような人かもわかったので連絡や相談がしやすくなった。

②スキルアップ研修の開催について

子どもの見守り方について、更に見識を深めることを目的として、今年度も応援団員を対象に「スキルアップ研修」を開催します。

この研修は、応援団員間の交流の場としても活用できるよう、参加者同士の意見交換を重視したプログラムとなっておりますので、ぜひ、ご参加をお願いします。

詳細については、次のとおりとなっております。

なお、定員(50名)に達し次第、締め切りますのでご了承下さい。

平成30年度 子どもの未来応援団員スキルアップ研修

開催日時	平成31年 2月15日 金曜日	午前10時～正午
会場	生涯学習センター2階集会室（市民プラザ内） 門真市北島546	
定員	50名 ※申込先着順 定員に達し次第、締め切ります。	
内容	●事業の進捗説明 【事業の全体的な進捗について説明します。】 ●模擬ケース会議 【情報がどのように支援につながるかを推進員が実演します。】 ●ワークショップ 【相手の話聞き、伝えることをグループで実践します。】	
締切	平成31年 2月8日(金)まで	
申込先	子どもの未来応援チーム	

TEL 06-6902-6098

③事業啓発ポスターを掲示（団員バッジ知名度の向上）



「FC大阪」様に（*2）作成いただいた事業啓発ポスターを掲示しました。

ポスターは、事業啓発と団員バッジの知名度向上を図るため、学校等の公共施設を中心に、門真市内の「セブン-イレブン」様及び「ファミリーマート」様にもご協力いただき、各店舗で掲示していただいております。

（*2）大阪府とFC大阪との包括連携協定に基づく事業の一環としてご協力いただいたものです。



事業啓発ポスター

●「宿題カフェ」について



「宿題カフェ」は、小学生のための宿題スペースです。勉強を教える学習支援とは違い、放課後に「学習習慣」を身に着けるきっかけとするために宿題をする場を無料で提供するものです。

この取り組みはNPO法人「トイボックス」が主催し、学校・家庭に次ぐ第3の子どもの居場所として、門真市内4か所において、それぞれ週1回実施されています。

また、子どもの見守り拠点の一つとして見守り活動も実施していただいています。

応援団員の方で「宿題カフェ」へ参加しても良いという方はトイボックス（下記、問い合わせ先）へ連絡してください。

	実施場所	開催曜日	住所	校区
1	市立市民交流会館 中塚荘	金	月出町11-1	門真みらい小
2	パティスリーエルブランシュ	水	石原町1-1	門真みらい小
3	ハッピービーンズカフェ	火	常盤町7-8	大和田小
4	イオン古川橋駅前店	木	末広町41-2	速見小

参加する応援団員の役割

- ①子どもたちが宿題に集中できるよう見守る。騒いだり、走りまわる子どもを見つけた場合は注意する。
また、学習支援ではないので、無理に宿題を教える必要はありません。
- ②宿題を終えた子どもと話したりして、コミュニケーションを行う。
- ③子どもの気になる言動や行動、シグナルなどを発見したら、「子どもの未来応援チーム」へ連絡する。

「宿題カフェ」に参加した応援団員から情報提供があった事例

提供内容	「ごはんを食べていない」と言っている児童がいた。
チームの対応	情報を収集すると、その児童は兄妹が3人おり、親は仕事が多忙なため、子どもの世話ができていない状況だとわかった。 「宿題カフェ」へ推進員を派遣し、今後は、その児童や保護者と人間関係を築き、更なる情報収集を行う一方で、情報を分析し、支援の方法等をケース会議で検討するとともに、学校と連携しながら対応を行っていくこととしている。

問い合わせ先（主催者）

NPO法人 トイボックス 「ルミエールホール(門真市民文化会館)指定管理者」

担当：別府

電話：06-6908-5300